

第3学年社会科学学習指導案

日 時 平成26年11月7日(木)

対 象 3年5組 男20名, 女15名 計35名

指導者 齋藤大貴

1 単元名 第3章 現代の民主政治と社会 2節 国の政治のしくみ

2 単元の目標

民主政治と政治参加

地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。また、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深めさせる。さらに、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させるとともに、民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えさせる。その際、選挙の意義について考えさせる。

- (1) 身近な話題などから、国会・内閣・裁判所の仕組みや役割に関心を持たせ、政治の仕組みを理解させる。
- (2) 国の政治の課題について、新聞やインターネットを通して情報を収集し話し合いや比較を通じて、多面的多角的に考察させる。
- (3) 模擬裁判などの体験的な学習を通して国民の司法参加の意義を考える。
- (4) 国会・内閣・裁判所の地位や役割、相互関係のあらましを理解させる。
- (5) 三権分立によって国民の自由や権利が守られ、民主政治が成り立っていることに気付かせる。

3 単元の評価規準

観点	B：おおむね満足できる
社会的事象への関心・意欲・態度	・国の政治・行政・司法に関心を持ち、学習活動に積極的に参加しようとしている ・裁判員制度をはじめとする司法制度改革について関心を持ち、課題学習や体験的な学習に意欲的に取り組んでいる。
社会的な思考・判断・表現	・議会制民主主義の意義について考え、国の政治にかかわる様々な事例から、その「課題」を見出し、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を考え考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・模擬裁判などの学習活動を通し、国民の司法参加について考え、自身も自分の考えを論述している。
資料活用の技能	・議員内閣制と大統領制の違いを図から見つける。 ・裁判に関連する国民の権利や、裁判における課題について、法令や判例、新聞記事などからよみとっている。
社会的事象についての知識・理解	・国会・内閣・裁判所の仕組みと働きについて理解し、その知識を身に付けている。また、議員内閣制を中心とする三権分立の仕組みとその意義について理解している。 ・司法権の独立と法に基づく裁判が憲法で保障されていることを理解し、その知識を身に付けている。

4 単元について

(1) 生徒について

本学級は、板書の記入や説明をしっかりと聞き、与えられた課題に対しては意欲的な面が見られるが、自分で課題をみつけ解決することや、自分の考えを持ち文章や言葉にすることが苦手である。その部分の改善を目指し、様々な資料から課題を探し、他の人との交流を活発にし、協力を得ながら課題を解決させると共に、

その課題に対しての、解決策に対して、自分の考えはどうあるべきか関心を持たせるように取り組んでいる。

(2) 教材について

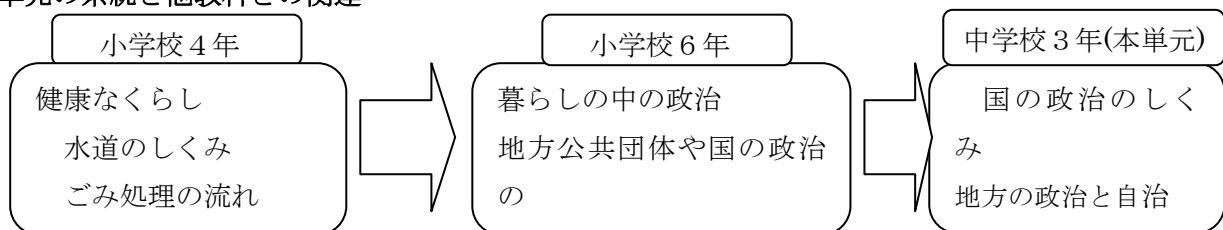
本単元は、『中学校学習指導要領解説－社会編』の内容(3)イ「地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。また、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深めさせる。さらに国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させるとともに、民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えさせる。その際、選挙の意義について考えさせる」こととなっている。

本時で扱う内容は、行政の意味と役割を理解した上で、行政権の拡大することとその課題について理解する。そのために、課題に対しての様々な取り組み(行政改革)について追求させたい単元である。

(3) 指導について

公民の学習では、今までの地理、歴史の学習と同様、自分で教科書や別資料から課題や問題点を見つけ出し解決することを定着させてきた。しかし、興味関心が持てない、自分の考えを自分の言葉でまとめることができないのが現状である。本単元では、「場のつながり」として、現在と昔の行政の役割と課題を把握させ、「人とのつながり」として、様々な資料活用し自分の考え、意見を持つ中で、迷いや解決に困ってしまった場合、他の人の意見と比較したりして、意見の交流を深めさせたい。「教材のつながり」として、本単元は「公民的分野」として(小学4年生 I 健康なくらし 小学6年生 5 暮らしの中の政治)の延長線上にある。小学校で触れた内容を思い出させ、さらに学びを深めさせたい。

5 単元の系統と他教科との関連



6 単元の指導計画(9時間扱い)

(1) 国会の地位としくみ	1時間	(7) 裁判員制度	1時間
(2) 国会の働き	1時間	(8) 模擬裁判	1時間
(3) 行政のしくみと内閣	1時間	(9) 三権の抑制と均衡	1時間
(4) 行政改革	1時間(本時)		
(5) 裁判所のしくみと働き	1時間		
(6) 裁判の種類と人権	1時間		

7本時について

(1) 目標

①社会の変化と共に行政権の役割が拡大したことについて、具体的な事例を通して理解する

＜知識・理解＞

②現在の日本の行政が抱える課題と行政改革の取り組みについて調べ、関心を持ち、表現する

＜思考・判断・表現＞

(2) 「自分の考えをもつ^自」「互いの考えを交流する^交」「お互いの考えのよさに気づく^気」場面

本時の「自分の考えをもつ」場面は、課題提示の後の課題解決予想する場面と資料から行政の建物が多く、行政が重要な役割を理解する場面である。

「互いの考えを交流する」場面は、グラフ資料から分析し、現代では行政の役割が大きなものとなっているということに気付く場面である。

「お互いの考えのよさに気づく」場面は、公務員の種類と役割を調べ発表させる場面である。

(3) 展開

段階	学習活動	場面	○指導上の留意点●評価の観点(方法)
導入 15分	1 前時の復習 2 本時の見通しを持つ 3 学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行政改革とは何か?? また、課題は何か??</div>		○指導上の留意点●評価の観点(方法) ○ 行政、内閣のしくみを確認。 ○ 本時に考える視点に気付かせる。 ○ 内閣の組織図から課題に繋げる。
展開 30分	4 課題に対しての予想を書く。 5 学習プリントを用いて、教科書、資料集から行政改革について調べる。 6 調べたことを基に、他の人と比較し具体的にまとめる。	^自 ^気 ^交	○ 課題提示後、予想を書かせる。 ○ 考えが持てない場合は、意見交換させる。 ○ 予想が書かれているかチェックする。 ● 課題に対して関心を持ち予想する。〈思考・判断〉 ○ 学習プリントを用いて、 ・ 行政改革とは何か?? ・ 誰がどのような役割で担当するのか?? ・ どのような行政改革あるのか?? ・ 行政の課題や問題点は何か??について、具体的にまとめさせる。 ● 行政改革の内容や行政の課題を理解する。〈知識・理解〉 ● 公務員の役割について読み取っている。〈技能〉
終末 5分	7 まとめ～現在の日本の行政の抱える課題の中で、特に重要だと思う課題を一つ選び、その理由を説明する。		○ 基本的に自分の考えで、自分の言葉でまとめさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ例 規制緩和：政治の役割が大きくなりすぎると非効率だから。</div>

(4) 板書計画

4 行政改革			
学習課題			
行政改革とは何か??また、行政の課題とは何か??			
(1) 課題に対する予想 ・行政のやり方を変更すること ・行政をよくすること ・スムーズに行政が進まない ・行政を担当する人が少ない …等		④行政の課題 ・企業の仕事まで行う。 ・倒産がないため、非効率。 ・公務員の官僚主義。 ・天下り。 …等	
(2) 行政改革とは?? ①行政改革 ・行政のしくみや政策を見直し、 簡素で効果的な行政にする改革。 ②行政の担当者 ・公務員→国家公務員, 地方公務員 ③②の役割 ・全体の奉仕者		⑤行政改革例 ・許認可権の見直し規制緩和 ・公務員の数を減らし、効率的な行政組織 …等 (3) まとめ～行政が抱える課題の中で特に重要と考える課題を、 1つ選択し、その理由を説明しよう!! <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">例・官僚主義～日本国憲法にあるように、公務員は全体の奉仕者として国民生活のために仕事を行うべきだから。…等</div>	